

2014年5月23日（金）

九州ツアーワークス 一日目

雲仙温泉・矢岳ハイク

by 高橋（文）（写真提供は参加者全員）

今回の九州ツアーワークスは普賢岳のミヤマキリシマをメインに、2012年に行った平治岳、阿蘇から2年振りの企画となりました。今回参加者は、熊本さん、伊能さん、吉松さん、高橋雄さん、能勢さんご夫妻、布目さん、小山さん、岡部さん、根岸さん、高橋文と、地元九州から参加の猿渡さんの計12名。天気の予報もよく楽しい旅が見込まれます。



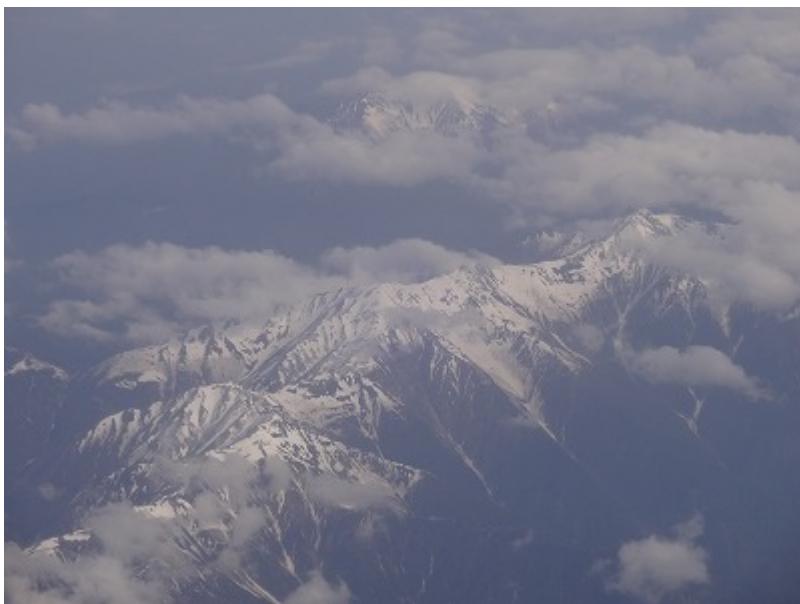
集合時間は7時だったが、搭乗券の発券は羽田のJALカウンターで6時40分からで、全員時間前に集合した。



カメラ用のスマイルもなかなか様になっている。



機内から見た富士山



白根三山

右から北岳、間ノ岳、農鳥岳



ほぼ定刻に長崎空港に着陸し、トヨタレンタカーに向かい橋を渡る。



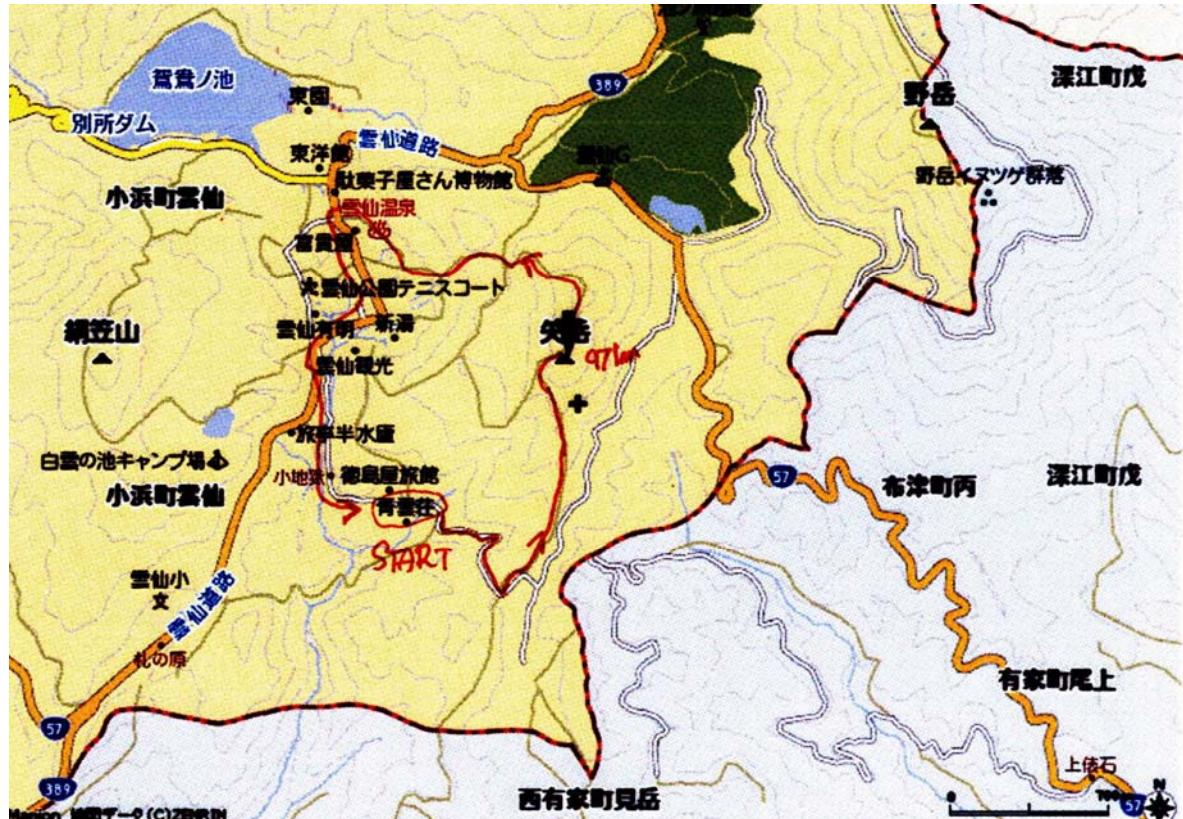
長崎空港から諫早市を通り、57号線に入り、コンビニに立ち寄り、本日の酒とつまみを仕入れる。



本日泊まりの国民宿舎「青雲荘」で猿渡さんと合流。
まずはチャンポン、皿ウドンなどで腹ごしらえ。



青雲荘の玄関で集合写真。これから足慣らしの矢岳散策に出かける。



これから登る「矢岳 (971m)」のハイキングコース。青雲荘から歩いて約2時間の周回コース。



出発前に、岡部さんの指導で入念に準備運動を行う。



適度な距離だね。



猿渡さんから、ここはマムシが出るとの話を聞き、登山靴を履き通常の登山の装備で出かける。
小鳥は種類も多く、また大きな声で鳴いていた。





山頂手前の 940m 地点にあった一等三角点。



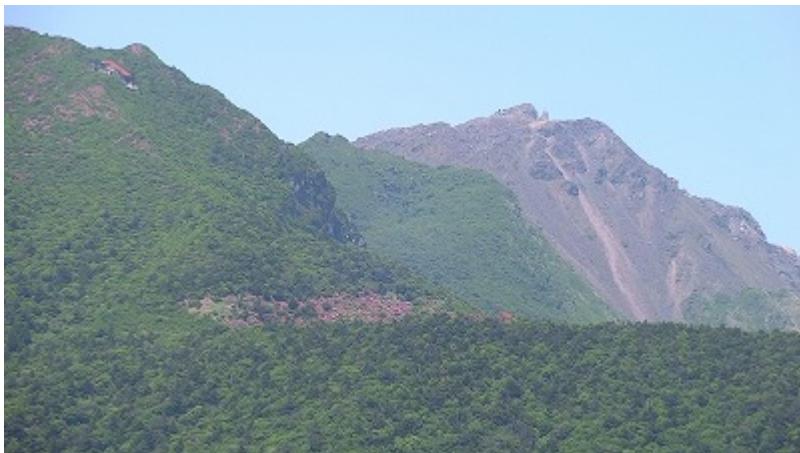
矢岳山頂で集合写真。後方に褐色に見える山は平成新山。



快適な足慣らしで、これなら余裕！余裕！



あれが池ノ原園地と説明する猿渡さん。
名調子は女性の心を捉えた。



平成新山は褐色に見えるが、緑の草木もちらほら見えている。



矢岳を下山し、雲仙地獄めぐりに。
いたるところで見られる噴気の最高温度
は 120 度とのこと。
あたりには強い硫黄臭が漂っている。



行ったことはないけど、地獄こんな感じのところ？



そろそろ疲れてきたかな。



今日、我々が宿泊する、雲仙・小地獄温泉「国民宿舎 青雲荘」へ戻る。



青雲荘の露天風呂と内湯、乳白色の硫黄泉。



猿渡さんが焼酎など4本持参してくれた。

女性のために、と持参してくれた日本酒はあっという間に空になった。
夕飯はもう一度ビールで乾杯。
食事もなかなか美味しかった。

夕食後、部屋に戻り酒を飲みながら、経験豊かな猿渡さんを中心に、明日の普賢岳ハイクの戦略会議。

当初計画は、朝食のバイキングを食べて7:30に宿を出発であった。

しかし、ミヤマキリシマが見頃を迎えたこと、明日は土曜日で更に天候も良いので、相当混雑すると思われ、出来るだけ早く出立したいと、朝食は弁当にしてもらい6時出発に変更する案で全員の意見が一致したところで、温泉に入り、明日の普賢岳ハイクを夢に見ながら就寝。